

2025ー2026年度 RI会長メッセージ

RIフランチエスコ・アレツォ会長



土浦ロータリークラブ



我がクラブのよいところを見つめ直し、未来に繋ごう!



我がクラブの良いところを振り返る - その5

【甲子園球場での野球大会参加に熱心なところ】

当クラブは、会員同士の絆を深める特別な体験も大切にしています。その一つが「甲子園球場でのロータリー野球大会」への参加です。あの伝説の聖地で汗を流し、全国のロータリアンと交流する感動は何物にも代えがたい経験です。スポーツを通じた情熱と友情も育める私たちのクラブ。奉仕の心と青春の熱さを同時に味わえる場所、それが我がクラブの良いところです。

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です

2025～2026年度(第68期 平島隆之年度)

8月第1例会プログラム

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
- 来賓紹介
- ビジター紹介
- 会長挨拶
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 米山奨学生 奨学金授与
- 米山・財団目録贈呈
- ガバナー卓話
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- クラブソング

8月7日(第3232回)

VOL. 5

会 長

奉仕の理想

会長

親睦活動委員会

米山記念委員会

瀬戸 隆海ガバナー

S.A.A

出席委員会

会 長

ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38)年 日本のロータリー創立:1920(大正9)年

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番

創 立 1958(昭和33)年2月14日

承 認 1958(昭和33)年3月 7日

事務局:土浦市中央2丁目16-9(常陽銀行4F) TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場:L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社

会長 平島 隆之 幹事 藤澤 昭彦

Zoom

ミーティングID: 81933359787

パスコード: 516766





国際ロータリー第2820地区
2025-2026年度

ガバナー 瀬戸 隆海
(水海道ロータリークラブ)

○生年月日	1955年7月生まれ
○事業所及び役職	(宗)報国寺 代表役員住職
○職業分類	仏教

【ロータリー歴】

1996年1月17日 水海道RC 入会
地区青少年交換委員長
地区国際奉仕世界社会奉仕委員長
地区国際奉仕総括委員長
クラブ会長

【ガバナー紹介】

一瞬を生き切る

このたび、わがクラブの瀬戸さんがガバナーに就任することとなりました。東京・増上寺で役職を務めるお坊さんでありながら、威張らず、朗らかで親しみやすいのが瀬戸さん流。ロータリーに入会した当初は「なんだか退屈」と感じていたそうですが、フィリピンでの歯科診療を機に奉仕に目覚め、スイッチオン！ その後はタイ、インド、パキスタンと飛び回り、例会では「瀬戸さん、どこ行った？」状態に。ハードスケジュールで知られる国際協議会でもパワー全開モード。外国の女性ガバナーと熱くハグして周囲をザワつかせ、「また行きたいなあ」と真顔で語るお気楽ぶりです。

そんな瀬戸さんが、ある時、私たちにこんな和歌を教えてくださいました。「時は今 ところ足元 そのことに 打ち込む命 永久の御命」——今、何を大切に一瞬を生き切るのか——。これまでの彼を思い返せば、瀬戸さんの姿は、まさにこの精神を体現しているように思えてなりません。

底抜けにポジティブな性格とロータリーへの情熱で、すでに他地区との合同プロジェクトも計画。地区内でも改革を構想しています。そんな姿に心を動かされ、地区役員になった会員も多いはず。この一年、瀬戸さんが描くロータリーの世界を、共に歩めることを楽しみにしています。

水海道 RC 倉持 功典

■ガバナーに尋ねました

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| ①自分を表す三つの単語 | ポジティブ。ナイーブ。打たれ強い |
| ②好きな映画や本、音楽。その理由 | 映画「空飛ぶタイヤ」。自分が出演しているから |
| ③最後の晩餐に食べたいもの | カニ肉入りフカヒレつゆそば (税込 6,500 円・サ別) |

30～40年前の土浦 RC と私の思い出

大槻 利夫 会員

私は、土浦 RC に入会させて頂きましたのは、42 年前の S58 年、(1983 年) 1 月 7 日でした。

推薦人は、その時の幹事の吉田正雄さんと沼尻正信さんでした。

その時の、会長さんは第 25 期 (S57 年～ S58 年) 1982 年～ 83 年内田清助さんでした。

同期は、石川清人先生でした。緊張した 1 日だったのを覚えています。

「光陰矢の如し」と言う言葉がありますが、本当にそう思う今日この頃です。

その頃の様子は

例会会場は、常陽銀行土浦支店 6F 大会議室を借りていました、例会日は、毎週金曜日 1 か月に 5 週ある時には 5 回出席していました。

食事は、霞月楼さんのお弁当、お茶はテーブル上にお湯のポットと急須があり、入会したての方や若い方が早く出席しお茶を入れておりました。

ロータリーのバッチの忘れも厳しく、忘れた場合は入口にニコニコ BOX があり自主的に入れる事になっておりました。

出席率も毎回 85% 越えでした、休んだ時のメーキャップは地区大会・地区の研修会は OK でしたが、ただの懇親会や委員会開催はダメでメーキャップにならなかったのです。

メーキャップは、前後 1 週間で他のクラブにメーキャップするのが基本的でした。

職業分類は、一業種一社の入会で制限があり今とは違っていましたので増強するにも色々制限がありました。

入会して数年がたった頃、週報委員になり卓話者の原稿をテープレコーダーで収録し、それを何回も繰り返し聞きながら原稿用紙に移して菊池印刷さんにお渡しする。大変だった事も思い出に残っております。たまに住職の話等は仏教語で難しかったです。

上野年度に (1996 年～ 1997 年) 台北陽明 RC20 周年記念大会が、行われ当クラブから 25 名位 (RAC メンバーを含み) 参加し大会を盛り上げました。

社会奉仕委員会で初めて水郷運動公園で清掃活動を行い、11 月 24 日クラブ会員 40 名位とロータアクト、ボーイスカウト計 100 名が参加し、気持ち良い汗をかきました。その時ダスト BOX10 基も寄贈し喜ばれました。

1996 年～ 1997 年佐藤二郎さんが、ガバナーになった時前般 8 月 15 日過ぎから各クラブへ公式訪問が始まり 12 月中旬頃終わりました。そして、12 月の頃に、新クラブを作りたいと話が持ち上がり阿見地区で作れないかという事でした。

準備を進め色々ありましたが、時間が足りない中、色々決め事も決まって行きました。

阿見のだるま薬局さん宅へ何度もおじゃまして打ち合わせをさせて頂き、特別代表神林正雄さんも決まり、拡大補佐 2 名河合さん、説田さんも決まり、阿見地区の会員募集を募るばかりですが、中々思うように会員が集まらず苦戦をしました。それでも会員 31 社でスタートしたと記憶しております。

そうした中、職業分類も工務店関係が多く色々細かく分けて職業分類を作る事になりました。(例えば、木工事業・鉄骨業・土木建築業など) その年度の 3 月に創立総会をし、認証状伝達式 6 月 22 日武器学校で行われた。あれから 28 年が過ぎたわけです。

前半は各クラブ公式訪問があり、後半は地区大会を市民会館で行われ、阿見 RC の創立総会等々をし、忙しい年度の後半でした。幹事として失敗も多々ありましたが、楽しいやりがいのある 1 年間でした。

それから自分が会長をさせて頂いた 45 期平成 14～15 年 (2002～2003 年) は、



その時のガバナーは、南クラブの片岡信彦さんでした。気持ち的にもそして比較的和やかに進めて下さった思い出があります。

スター委員会発会式を8月開催しておりますが、最初に始めた年が、福田博さんが、委員長として開催して以来今日まで続いている事は大変うれしく思います。

そして、年度の終わりがろ忘れもしない平成15年5月15日17時～45周年式典が土浦第一ホテルで行われる前日

私たち夫婦は、ある研修会がありまして大阪に宿泊し15日の朝土浦へ戻る予定でしたが、事故があり土浦に帰れず副会長の福田さんに代理をお願いしました。

式典は無事に終了することが出来たと翌日黒田幹事から聞きました。

その時は、皆様方に本当にご迷惑をお掛けいたしました。いまでも感謝の気持ちで一杯です。

異業種の方々と話し合いが出来た事は我が人生において企業においても成長させていただきました。ありがとうございました。

急いでの卓話でしたので、まとまりませんし少し思い違いもあるかもしれませんが後期高齢者と言う事でお許しただいてメンバーとして後2～3年かと思いますが、よろしくお願い致します。

以上卓話とさせていただきました。

河合 隆 会員

大槻さんの前座をやるつもりでしたが、後となりましたので、なるべくダブらないように話したいと思います。大槻さんは、御父上の会社の跡取りとして十分の実績があつての入会です。私は、開業して13年目で、実業界であれ、経済界であれ、何等の実績もなければ、知名度もない状況での入会ですので、大槻さんとはクラブに対する感想は違うかと思います。入会当時のことを思い出しつつ、個人的な感想となりますが述べてみたいと思います。

土浦 RC に私が入会したのは第31期の1989年・昭和63年10月で、菊池保次さんが会長（菊池信子ガバナー補佐の父上で、菊池泰正君はお孫さん）、梶間浩さんが幹事の年です。つまり2か月後には平成元年(1990年)となります。現在私より長い在籍会員は、現在大槻さん、萩原先生、鈴木先生そして広瀬パストガバナーの4名だけとなってしまいました。37年前の土浦 RC についての思い出となります。その当時の話として聞いてください。

なお、年長者が話をすると、昔はこうだったから今はけしからんと言ってるように取られると心外です。当時のクラブの雰囲気や良し悪しとは関係なく、思い出話としてお伝えしようとしていることをお断りしておきます。

1 番目は会員についてです。

お手元の創立会員の名簿をご覧ください。大正・明治生まれの方々です。皆さんは何人くらいご存じでしょうか？私は、土浦市で学校を小・中・高と過ごし、創立30年後に入会したのですが、その30年前のほぼ全員を存じ上げていました。本人を直接知っているというのではなく、そのお店、その会社、或いは新聞チラシ等々のメディアへなどを通じて知っておりました。その位この土浦近辺では名の知れたメンバーです。土浦商工会議所2名の会頭、歴代7名の土浦市消防団団長・消防長、土浦市農協組合長、政界には元土浦市長（天谷虎之助氏、箱根宏氏）2名などなど、諸団体のトップが在籍しています。このうち土浦市消防団には、細野勝久氏、内田清助氏、青木利之氏、色川恵一氏、宇田川仁氏、中桐勝太郎氏、創立会員ではないですが高木彬氏がおります。天谷虎之助氏は当時現職の2期目の土浦市長で、(昭和26年(1951年)から昭和34年まで)、天谷丑之助氏と「ウシ・トラ合戦」と言われ、全国のマスコミを賑わしました。土浦市民をウシ派、トラ派と二分したもので、わがクラブはそういう意味ではトラ派の方々が主要メンバーであったわけです。

私の入会した第31期の会員は98名ですが、一時的には100名を超えています。地元土浦で一般の方々に名を言えば創立会員の場合と同様に土浦近郊ではいずれも知られた小売業・百貨店業・卸売り業・製造業の他、経済界や各種資格者がずらりとメンバーになっています。



当時のクラブには、支店長・支社長さんだけでも、日本生命保険、住友生命保険、住友海上火災、山種証券、野村証券、山一証券、NTT、東京電力、日本交通公社、長谷工コーポ、竹中工務店、清水建設、日本信託銀行、協和銀行、三和銀行、常陽銀行、関東銀行、茨城銀行、土浦信用金庫、カスミ、土浦京成百貨店等 22 社もが会員にありました。

当時は、入会には職業分類の 1 業種 1 名とされていたので、職業分類には相当苦労したものかと推察します。入会審査も、入会希望者が誰でも承認されたかと言うと、そうでもなく、保留や一部では理事会の議案に至らなかったようなことも聞いた覚えがあります。

会員はその業界を代表しているのだから（定款にはそのような規定はありませんが）、自分の業界を貶めるようなことのないように振る舞うことを期待され、自覚するようにとの気風がありました。

約 100 名の会員の年代別構成は、40 歳代が 43% で圧倒的で、50 歳代 17%、60 歳代 18%、70 歳代 18%、80 歳代が 4% となっており、若い年齢の会員が半数近くを占めており、しかも創立メンバー 33 名中 13 名が当時在籍している理想的年齢構成のクラブであったかと思われます。

このような錚々たるメンバーの方々クラブに入会を決断するのには、ハードルが高く、気後れを感じて、入会決断をしばらく保留していたことを覚えています。

当時の社会状況は、1980 年から日本は景気拡大期になり、アメリカの学者が『ジャパン アズ ナンバーワン—アメリカへの教訓—』を出版して日本的経営を高く評価し、三菱地所がアメリカの魂と言われるニューヨークの「ロックフェラーセンター」を購入し、(丁度現在の日本製鉄による「US スチール」の買収と似たような)話題になったのが、1989 年(私の入会年)です。1986 年から 1991 年までの 5 年間でバブル景気と言われました。

当クラブの会員数 100 名前後は 1989 年から 1998 年がピークですので、バブル期の 5 年間、バブル終焉からの 5 年間の約 10 年間続きました。バブル景気後退期に差し掛かってはいても、足元では、まだ実感はされてはいませんでした。今の桜町の飲み屋街の六間通りなどは、夜になると土浦駅前から大町まで、酔客が一杯で先が見通せないような盛況でした。現在からは想像し難いほどで、今昔の感があります。

2 番目は、例会出席についてです。

ロータリアンの 3 大義務は、諸説ありますが、当時は 1 に例会出席、2 に会費納入、3 に雑誌「ロータリアン」の購入と言われてました。そのうちの最大義務は、例会出席と言われており、出席率はほぼ 90% を超えていました。当時の規定では、メイクアップは自クラブの行事への出席はメイクアップになりません。しかも例会日を挟んでの前後 1 週間の 2 週間内に他クラブ又は、地区・分区の行事に参加しないとメイクアップになりませんでした。したがって、欠席すると、後の 1 週間内で他クラブの例会へ出席しなければなりませんので、近隣クラブを検討するわけですが、月曜日例会のクラブは極めて少なく、火曜日から金曜日が通常で、土浦 RC が金曜日ですので、火曜日から木曜日の 3 日間しか実際にはないわけです。メイクアップが厳しく容易ではありませんでしたからこそ会員皆さんが自クラブを休まないようになったのかもしれませんが、近隣 RC の例会日もそのメイクアップの利便性から、同一曜日に重ならないよう配慮がされていたものと思われます。

例会時間も厳しく守られており、早く終了しても駄目、遅くなるなどなおのことご法度でした。会場監督の S A A は、常に 5 分位のネタを手元に用意しておくようにしていましたし、外部卓話の方には念入りに時間の厳守をお願いしたりしたものです。

例会はピーンと緊張感があり、私語もなく、歩き回る者もいません。時々咳払いが聞こえるくらいです。他クラブの方がメイクアップに来ると「土浦 RC は堅苦しいからいやだ。」と言われ、他クラブに比べて来訪ロータリアンが少ない状況であったと思います。

入会したときには既に「格調高く、和やかに」のスローガンがありました。何時からあったのかは判りませんが、緊張感の中に程よい和やかさが見えるとき、何とも言えない心持がするものでした。多分多くのメンバーは、この微妙なバランスを嫌がっていなかったばかりか、何処か他クラブに対しては誇りにも思っていたような気がしています。

3 番目は「例会場について」

創立以来、霞月楼様、土浦商工会議所又は常陽銀行土浦支店様などをお借りしていました。私が聞いて

いる話では、創立の時から例会の昼食を用意してくれるお店がなくて、堀越会員の「霞月楼」さんに無理を言ってお願いしたのだと、そのような経緯から「歴代会長幹事会」は「霞月楼」さんで行うのだと聞かされました。「霞月楼」さんの例会の昼食は使い捨てでない木で出来た箱弁当を仕出ししてもらって、暖かい汁もの付きでした。急な出席があると数の手配が間に合わなく、S A Aや幹事、又事務局などが食事抜きや例会終了後に別の食事をするなどをしてやり繰りしていました。

メンバーが100人を超えるようになって会場内に入りきれなくなってきたことや、会員は銀行の駐車場を使用しないようにと言ってもなかなか徹底されず、銀行も困る、会員も駐車場がなく不自由なことから例会場移転が検討されました。

第42期、1999年（平成11年）から「プラザ平安」に移転しました。ところが、同例会場が閉店するとのことから第44期2001年（平成13年）磯山伸会員の土浦第一ホテル（後ホテルロイヤルレイク土浦に改称）に移転しました。

銀行時代のある時から例会中に、ワイングラス1杯300円のコーナーができました。これはニコニコの収益となりました。会員が歩いて来られる街中の方が多かったものと思っています。とても楽しかったです。今は諸事情より望めないことかと思いますが、楽しい思い出です。

4 番目は例会日の変更です。

第46期、平成15年（2003年）例会日を金曜日から木曜日に変更しました。

会員から、支店長支社長の会員は、金曜日に自宅に帰るので、金曜日の夜の例会などには参加しづらい、他の会員からも土曜日を休日とする週休2日制を採用する企業が増え休日前の金曜日は参加しづらい等の意見がありました。一方では、ご存じの方もおりましたが、土浦RCには、自クラブ例会だけで当時で42年間皆出席（後に50数年間の自クラブ皆出席となります。）の神林正雄会員（私の推薦者です）が居ります。神林会員は変更しても会員増強にも出席率の向上にもつながらないという意見で反対でした。賛否両論があり、会員にアンケートを取ったような気がします。その結果土浦南RCが火曜日でバッティングしないことから木曜日の意見が多数となり決定したと記憶しています。結果としては、経済状況の影響もあったろうかと思いますが、出席率や会員増強に例会日変更が寄与することはありませんでした。この例会日変更は、担当した役員の皆さんは大変でした。本当にご苦労様でした。私は例会日が木曜日に変更されてとても良かったと思っています。

以上、一会員が入会当時のクラブの思い出しての様子を、お話しさせてもらいました。ご清聴ありがとうございました。

大槻 利夫 会員、河合 隆 会員
卓話ありがとうございました

■ 幹事・委員会報告

藤澤 昭彦 幹事



原田 博夫 第67期 会長



2025年7月24日(木) 11:30～ 場 所：ローブ 3階会議室

審議事項

- 第1号議案： 分区運営費負担の件
特に意見無し：可決承認
- 第2号議案： 「この指とまれ」共同提唱の件
特に意見無し：可決承認
- 第3号議案： ガバナー公式訪問時の「ロータリー希望の風奨学金支援」の件
特に意見無し：可決承認
- 第4号議案： 9月例会プログラム承認の件
「新人卓話」という表記はいかがなものか。
→「新入会員卓話」との表記に変更するよう金澤委員長に伝えます。
- 第5号議案： その他
藤田理事：70周年記念式典に向けての委員会の立ち上げを早急にお願いしたい。
→会長：了解しました。ガバナー公式訪問終了したのちに集まって協議しましょう。

2025-26年度 9月のプログラム予定

4日	理事会（3）	会長挨拶	米山記念奨学生奨学金授与	各種お祝い	「ロータリーの友」紹介
11日	クラブ協議会（2）	卓話	「クラウドファンディング・新規事業等最近の話題」福田会員		
18日	新入会員卓話	山本会員			
25日	新入会員卓話	藤原会員			

来訪ロータリアン

ガバナー補佐 大堀 健二様
ガバナー補佐幹事 中野 勝様



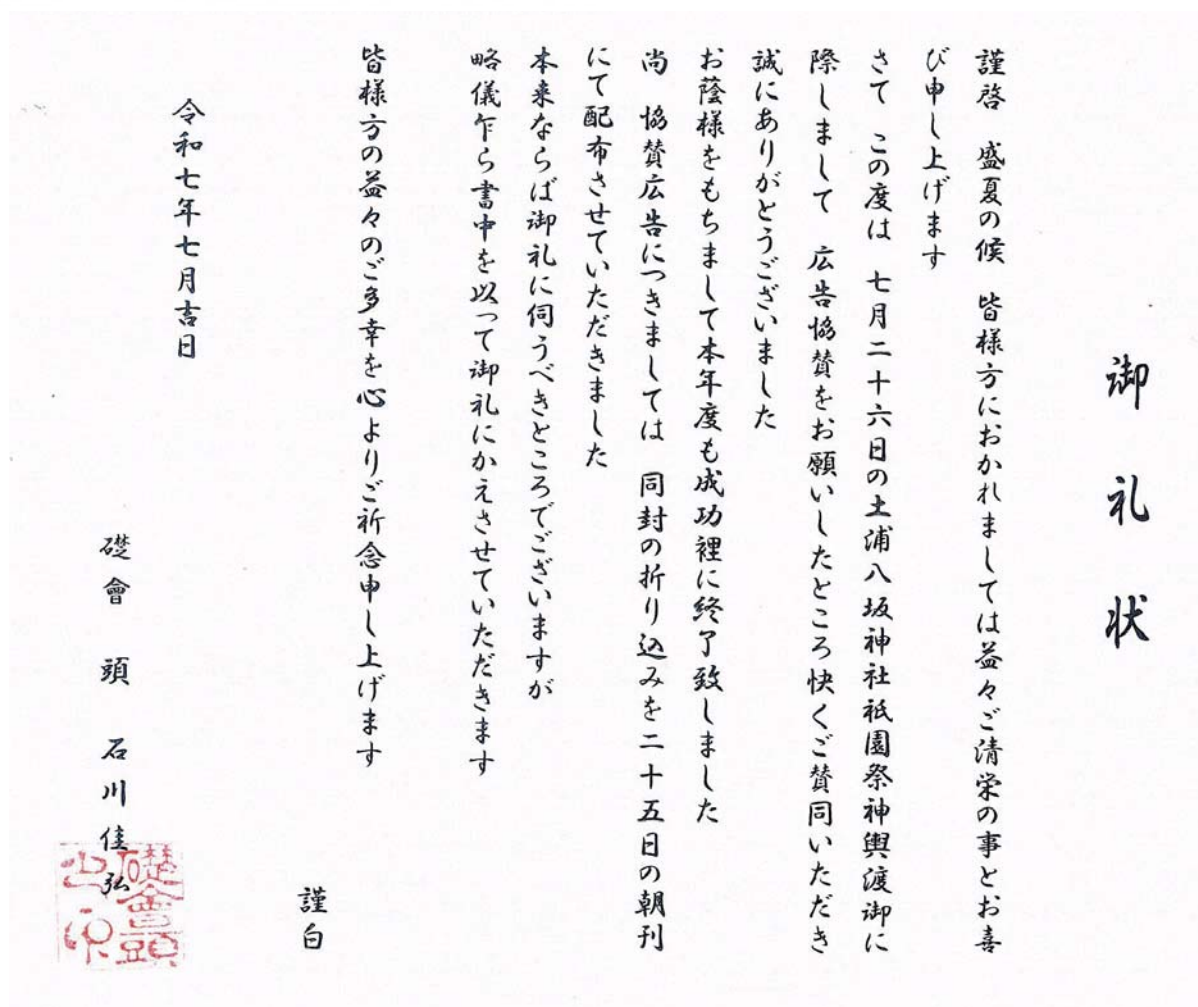
メイクアップ

7/19 奉仕プロジェクト研究会 原田
7/22 IYFR京都琵琶湖フリースタイル協会 鶴田
7/27 2820地区青少年奉仕研究会 中島 原田

にここBOX

7/24 計47,000円 累計282,000円

礎會から広告協賛の御礼状



出席報告

会 員	欠 席	出 席	免除・欠席	出席率
46名	18名	28名	0名	60.86

例会予告

8/14 休会
8/21 RI国際大会報告
各種お祝い 夜例会 (18:30～)

8月のロータリーレートは149円です。

事務局からのお知らせ

お盆休み 8/8～8/17まで休業になります。

格調高く、和やかに S.A.A